

症例 15

●36歳 男

3カ月程前より過労後の安静時などに動悸を自覚するようになった。
スポーツマンである。



- 1) このリズムは何か。
- 2) 治療はどうするか。

心電図診断

洞徐脈+心房性期外収縮(連発)

RR間隔は全体に不整、特に第5～7拍目の先行RR間隔が極端に短い。

第5～7拍目のQRS波形は他と同じであり、心房性期外収縮の連発と考えられる。

その他の心拍のRR間隔は1.3秒～1.7秒であり、基礎調律は洞徐脈である。

解説

一般の上室性期外収縮と同様、心房負荷の徵候があればその改善に努める。この症例の場合は基礎にある洞徐脈が原因の1つと考えられたため、アロテックを投与して洞徐脈の改善をはかるとともに、毎日やっていたマラソン練習を中止させたところ、自覚症状、心電図所見は改善され、現在は不投薬で経過観察している。